

やまはたかくそびえ、たにはふ  
かくきざまれている。そのあいだ  
をながれるかわは、しずかにひか  
っていた。おとこは、けわしいみ  
ちをひたすらのぼっていく。  
かれのころには、つよいけつ  
があった。

菊池寛 「恩讐の彼方に」より